



—平成20年度 成人式—

# 館報 まつかわ “メ”に生きよう新人

松川町公民館報 第539号

月日が流れるのは早いもので自分も今年で20歳になり、無事に8月15日の成人式を迎えられるようになりました。自分は、早生まれなので20歳になってから半年ぐらいいかたっていないのですが、成人式という一つの大きな節目を迎えてからは、自分の中で少しずつではありますが日々変わって行くのが感じられるようになりました。

自分は、2年間地元である松川町を離れて東京の専門学校で勉強してきて、今年卒業をし、就職をして現在に致っています。就職をした時は、一社会人として会社や地域の役に立てるよう努力をしていこうという心構えをしたつもりでしたが、新社会人という事もあり、心のどこかに自分に対する甘えもあったのではないかと思えます。ですが、成人式で同年代の人達の意見発表での目標や決意、町長様をはじめ、来賓の方々の温かい言葉を受けて、身が引きしまり、新たな一歩を踏み出す活力が生まれたように思います。

# 主張

## 成人を迎えて

今回、盛大な成人式を迎えられたのも、両親をはじめ多くの方々の深い愛情や支えによるものだと実感しております。また、成人式を問題なく運営できたのは、実行委員の皆や、公民館の方々の協力と成人式に来てくれた多くの友のおかげだと実感し、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

少子高齢化が進む昨今、私達が社会で果たす役割が重要となつてきますが、まだまだ社会人として未熟でありますので、今後色々迷惑をお掛けする事もあるかと思えますが、深い愛情のもと、時には厳しく叱り、時には温かく見守って頂ければと思います。

新成人になったとはいえまだ未熟ですが、人生に対して夢と希望を持ち、常に前を向き、人が人として当たり前の幸せな人生が送れる社会を目指して多くの友と力を合わせて、頑張っていきたいです。そして、最後に今回の成人式に来てくれた多くの友に感謝の気持ちを含めて言います。ありがとうございます。

清水一貴

# 成人式の様子



久々に集まった同年の仲間たち



お酒が飲めるようになりました



カンパニー!



プロの人形劇を誰でも無料で楽しめるチャンスが、松川町でも年に一度訪れる。それが公民館人形劇場だ。8月3日(日)今年も町民体育館で恒例の人形劇場が開かれた。

例年以上に盛り上がった飯

田市の人形劇フェスティバルだが、その期間に合わせ、毎年町でも人形劇場が開かれている。フェスティバルに訪れている人形劇団を紹介してもらい、町民の皆さんにも本物を味わってもらおうと計画されている。

今年松川町にやってきたのは、人形劇団ココン(奈良)と、ねぎぼうずSAYO(大阪)の二組。「人形劇団」といっても、それぞれ一人ずつ、合わせて二人の出演だ。

午前10時の開演を前に、大勢の親子連れが会場に集まり、

席を埋め尽くした。

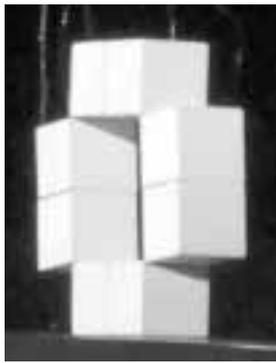
まずは、ねぎぼうずSAYOの「おぎゃあ」という演目。赤ちゃんの世話をしている様子最後はおばあさんになるまでの劇だが、コミカルでややぶラックな演出も織り交ぜて子どもたちの笑いを誘っていた。

続いては人形劇団ココンの「8つのシカク」。8つの四角い箱が連なり、まるで生きているかのように動いて不思議な世界をかもし出す。セリフは無く、箱の動きだけで表現された糸あやつり人形だ。次は同じく人形劇団ココンの「マリアカラスのダンス」。



とってもグラマーな鳥マリアカラス。羽根・体・顔それぞれが表現豊かな動きを見せる。

マリアカラスという大きな鳥の人形がダンスを披露した。こちらセリフは無く、人形が音楽に合わせてダンスをするだけだが、曲に合わせてユニークな動きを見せる人形に笑いもおきていた。



単なる「シカク」もプロの技で生きてみえるから不思議。まさに妙技!

最後はねぎぼうずSAYOと人形劇団ココンが一つとなり、「猛烈トホホ団」という劇団名で劇を披露した。あやつり人形の劇なのだが、よく見



おぎゃあ!と生まれた子どもが最後はおばあちゃんに。

る人形劇とはどこかが違う。なんと人形を操る二人までもが劇の出演者となり、ドタバタ

劇を繰り広げるのだ。その名も「マリオネットだドンジャラホイ」。一つの物語を人形劇で進めていく話とは違い、あやつる劇団の二人のやりとりがまるで漫才かコントのようであり、「ボケとツツコミ」で会場は大爆笑に包まれていた。今年の人形劇場はどちらかといえば大人向き。あまり小さな子どもでは、やや理解できない部分もあったかもしれないが、一つの物語を進めていく人形劇以外にも、こんな人形劇があるのだという驚きを受け、新鮮な気持ちになった。そして、改めてプロの技のすばらしさを知った人形劇場であった。



ねぎぼうずSAYO(左)と人形劇団ココン(右)この二人が人形そっちのけでお笑いライブを繰り広げた。人形劇も笑いも堪能した時間となった。

8月31日(日)、町民体育館トレーニングルームにて、まつかわ大学第II講座が開催された。今回の講師は、タレント・芸能プロダクション経営、漫才師と多才な活動を行っている辻イト子さん。

「すごく、普通のおばちゃんでしょう」レモン色のスーツ姿、人懐っこい笑顔で「岸和田のみかん農家のおばちゃん」がちよっと変わった半生を語り始めた…。

辻さんはみかん農家の一人娘。20歳の頃母が亡くなり、父と2人農家を続ける。銀行員の男性と結婚し2人の娘に恵まれるも、長女は知的障害があった。世間からの障害児への哀れみの視線や誤解などに悩み、結構辛かった子育て時代。やがて辻さんは世間体を気にして我が子を



## まつかわ大学第II講座 農家の嫁の大転機!

—輝くチャンスを見逃さないで—

講師：辻 イト子 氏

業後、就職した娘も次第に職場に慣れて安堵した矢先、今度は父が脳梗塞で倒れる。兄弟もなく夫も頼れず、一人病院に通い介護。



「世間(並)」という枠に当てはめようとしていた自分の過ちに気づいたのだった。養護学校卒業後、就職した娘も次第に職場に慣れて安堵した矢先、今度は父が脳梗塞で倒れる。兄弟もなく夫も頼れず、一人病院に通い介護。

る父を自宅に連れ帰ったのはみかん収穫期のこと。「死ぬ前に」畑を見たい」という父を連れ畑へ。収穫作業をする辻さんに、並べたコンテナの上に横たわる父が「収穫したいからハサミをくれ」動く左手にハサミを持たせたところみかんをひとつ落とした！その後主治医も驚愕の回復を遂げた父。先祖代々の畑を守ろうと諦めないで頑張った父はその後9年の余生を全うした。

子も自立し、父も看取った。空いた時間で学習、取得した宅地建物取引主任の資格で不

動産屋を開業するもバブルが弾け：暇な事務所が目にした「中高年タレント募集」の新聞広告。こうして辻さんのタレント人生が開けた。「岸和田も」田舎だから変わった事したら周りの目が気になる。でも、行動してみたら、近所も好意的に応援してくれるよう

### 高齢者講座

## 健康体操

〜今の健康を維持しましょう〜

8月25日月曜日午後1時より町民体育館体力相談室において、高齢者講座「健康体操」〜今の健康を維持しましょう〜が、NPO法人「楽しいをつくるサロンの阿智」のレクリエーションインストラクター山田初美さんの指導のもと開催されました。参加した高齢者はおよそ50名でした。



講師の方も説明に力が入ります

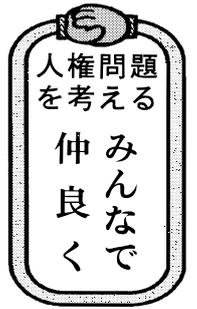
「波瀾万丈だったけど自分の人生が愛おしい」と語る辻さん。「自分の気持ちひとつで、素直に足を一歩踏み出すだけで人生は変わってくる！」素晴らしいエールを聴講生に送ってくれました。

「楽しいをつくるサロン阿智」では、社会福祉と高齢者の余暇支援を目的に、高齢者の老化をできるだけ遅らせて、楽しい余生を過ごしてもらえようという活動をしています。レクリエーションを通して高齢者の方に、仲間づくりをすること、人付き合いの大切さを知ってほしいと考えているそうです。最初に、「握手でこんにちは」と、スキンシップ「みんな仲良し」と題されたレクを行いました。レクは高齢者が立って行うごく軽い運動です。きつと長い時間をかけてすると効果がでるのです。

「楽しいをつくるサロン阿智」では、社会福祉と高齢者の余暇支援を目的に、高齢者の老化をできるだけ遅らせて、楽しい余生を過ごしてもらえようという活動をしています。レクリエーションを通して高齢者の方に、仲間づくりをすること、人付き合いの大切さを知ってほしいと考えているそうです。最初に、「握手でこんにちは」と、スキンシップ「みんな仲良し」と題されたレクを行いました。レクは高齢者が立って行うごく軽い運動です。きつと長い時間をかけてすると効果がでるのです。



習ったことを忠実に覚えませ



友だちを大切に

松川中央小学校

中央小5年 桑原優希  
 ぼくたちは、『みんなが仲よくなるために』という勉強をしました。

その一部で、ぼくが良いと思ったところをしようかいます。

『ぼくらはサッカーをしてもいいけど、あいつらはやっちゃいけない。』ってことは、絶対ないことなんだ。」みんなやっていいことは同じだから、そのことが伝わってきて、いいなあと思ったところです。この文で、おたがいに友だちを大切に思うようになればいいと思います。

いじめ

中央小5年 米山萌香  
 私は「いじめ」をする理由は、二つあると思います。

一つ目は、いじめられる人の事を知らないということです。人間は一人一人が一つ以上のいい所をもっていると思います。それに気づけば「いじめ」はなくなると思います。

二つ目は、思いやりです。自分にされていいやな事は、だれがされてもいいことではないと思います。心にブレーキをかけて『いじめはダメ』という意識を心の中においておいてほしいです。今のいじめがなくなり、これいじょうふえないでほしいです。

うれしいたいけん

中央小5年 桜井唯菜

私は、学校の休み時間や授業中でうれしいたいけんがありました。それは、休み時間のとき、友達に「いっしょにあそぼう」とさそわれたことです。私から話かけたんじやなくて友達から話かけてくれました。私は別にいじめられてはいませんが、本を一人で読んでいたらさそってくれたのでうれしかったです。私は『私も今度友達にあーやってほしいなあ。』と思いました。そしてやってみると友達はともうれしそうでした。私はこれからも一人の人をあそびに、さそってあげたいです。

いじめをなくそう

中央小5年 佐藤秋乃

わたしは、まえに休み時間などに、一人でいたことがありました。そしたら、「いっしょに遊ぼうよ。」

と言ってくれた人がいました。わたしはその時、とてもうれしかったです。

なので、わたしはその時から、いじめられていたり、一人で遊んでいる人がいたら、すぐその人の所へ行つて、「いっしょにあそぼう。」

と、言つてあげられればいいなあ。と思いました。そして、これから、いじめをなくしていきたいと思います。

うれしかったこと

中央小5年 松下ゆうと

ぼくは、サッカーをしていたらこんでけがをしてしまった時に、いっしょにやっていた人たちが、「大じょうぶ。」

などといつてくれたのが、すごくうれしくて、心にのこっています。それからぼくは、けがをした人をほけん室につれていってあげたりするのが多くなりまりました。ぼくは、ぼくに

大じょうぶと言つてくれた人のおかげで、人を思う力がふえたと思います。ぼくは、だいじょうぶといつてくれた人に感謝したいと思います。

俳句

中央小5年 大島崇哉

友だちは  
 いつもやさしく  
 してくれる

松川町の文化財

(352) 埋蔵文化財 (250)

大島城(16)発掘された大島町の一部

松川町の中世城館跡

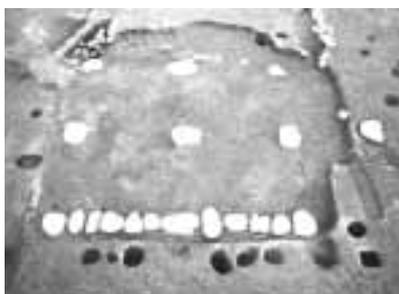
教育委員会 酒井幸則

武田氏によって伊那郡経営の拠点、並びに三河・遠江への出撃拠点、さらに本国甲斐の外郭防御拠点として武田氏が直轄で修築した大島城の前面には新たな町屋が構成され、大島町として行き交う人々で賑わいました。この町屋は城の前面だけではなく、下段の下島(現古町東部)にも展開し、今以上に多くの人々の生活があったことが想像されます。

過去の道路改良に伴う発掘調査で当時の人々の生活の跡の一部が具体的に検出されています。古町南部からは半地下式の竪穴住居跡や、お堂とみられる建物跡、お墓、いろんな用途の穴などがあり、住居跡からは大島城の中から出土する陶器や古銭などと同じものが出土しています。また当時外国のルソン地方から輸入された壺が骨壺として再利用されていたものも発見されています。

下島からは、古町の鎮守である八幡大神社の真下から9個の礎石をもった建物跡が検出さ

れ、2間四方のお堂があったことが確認されています。また人々の生活の場であるとみられる竪穴住居には礎石が用いられたものもあり、板敷きの床があったことも判明しています。さらに河原石を方形の区画に集めた部分からは3個の壺が出土し、一部に火葬骨が入っていたことから、当時のお墓と骨壺であることもわかりました。当時の大島城には、甲斐本国や西上野・信濃各地の武田軍団が駐屯し、これに付随してあらゆる業種の人々の往来がありましたから、まさに「町」といわれる賑わい、反映があつたのです。



下島のお堂の跡

# やっつけてきました

## 秋です！スポーツ

### 第23回松川町オープン野球大会

8月10日(日)に第23回松川町オープン野球大会が運動公園グラウンドをメイン会場に、町内各地で行われました。12チームが参加し、トーナメント方式で大会を行いました。結果は次のとおり。

- 優勝 平成トンネルズ  
準優勝 清上
- 第3位 シアトル・マヨネーズ
- 第3位 松川ファイターズ

### 夏季片桐神社マレットゴルフ大会

松川町マレットゴルフ同好会主催の片桐神社マレットゴルフ大会が8月20日(水)に開かれました。総勢84名が参加しました。

結果は次のとおり。

- 優勝 大木島 巖 (100)
- 準優勝 龍口 兼人 (104)
- 3位 鎌倉 陽一 (104)
- 4位 松下 陸次 (105)
- 5位 川瀬 十蔵 (107)

松川町マレットゴルフ同好会主催の桜山神社マレットゴルフ大会が8月6日(水)に開かれました。総勢89名が参加しました。

結果は次のとおり。

- 優勝 田口 照男 (113)
- 準優勝 山岸 和子 (113)
- 優勝 小本曾美里 (119)
- 3位 中山フキ子 (121)
- 4位 北林 朝子 (123)
- 5位 佐々木多津子 (123)

### 松川町囲碁同好会夏季大会

松川町囲碁同好会の夏季大会が、8月24日(日)に中央公民館で開かれました。

結果は次のとおり。

- 優勝 北沢 正一(五段)
- 優勝 宮沢 実(三段)
- 3位 中川 貞義(三段)
- 4位 小野田忠雄(四段)
- 5位 中平 英雄(五段)
- 6位 高木 雄二(初段)



## 情報

### 本館行事

- 〈男と女いきいき講座〉  
期日 9月29日(月)  
場所 中央公民館

時間 午後7時〜  
内容 「共に支えあうって？」

### 〈街頭あいさつ運動〉

期日 10月6日(月)  
場所 町内各所・学校周辺  
時間 午前7時〜8時

### 〈家族で遊ぼう〉

(第1回)  
期日 10月7日(火)  
会場 大草城址公園  
内容 遠足

### (第2回)

期日 10月21日(火)  
会場 大島保育園  
内容 さつま芋掘り

### 〈体験講座〉

「町内の歴史と自然を訪ねて」  
期日 10月26日(日)  
場所 町内の史跡や名所  
時間 午前10時〜  
講師 資料館 酒井幸則氏

### 地区館行事

- 古町地区公民館  
〈区民演芸会〉  
期日 10月25日(土)
- 〈健康教室〉  
期日 10月26日(日)
- 〈文化祭〉  
期日 10月26日(日)

上新井地区公民館  
〈七檀神社秋季祭典〉  
期日 10月5日(日)

### その他行事

### 〈町民運動会〉

期日 10月13日(月)  
体育の日  
午前9時開会  
会場 大島会場―中学校校庭  
上片桐会場―北小校庭  
生田会場―生田グラウンド  
同時開催

### 〈第14回松川町文化祭〉

期日 10月24日〜26日(金・土・日)  
会場 町民体育館・中央公民館

### 〈ふれあい広場〉

期日 10月19日(日)  
会場 名子原体育館



# なまま今

## 記録写真の会

平成11年発足「記録写真の会」の皆さんにお話を伺いました。

会員数は現在13名、月1回月曜日に例会を開いて持ち寄った写真を見て、皆で感想を出しあうとのこと。



これなんかイイね工

若手農業者の会若武者では毎年、農業に対する視野を広めるという目的で県外視察研修を行っています。今年は7月29日に大阪中央市場大果と京野菜専門店を視察してきました。

大阪中央市場大果へは松川町から多くの果物が出荷されており、担当者の方から最近の農産物の流通動向や各産地の情報などを聞くことができました。若武者

取り組み多くの写真の中から松川町文化祭に出展するものを会員皆で選ぶとか。今年のテーマは「花」。

取材に伺ったこの日も持ち寄られた写真を一人ずついねいに見ながら、何処で撮ったものか名前は何という花かなど確認し合いながら進められていました。

デジタルカメラで撮ったものはCDにおとしパソコンで、ネガフィルムもリバーサルというスライド専用のネガを使い視聴覚室のスクリーンに映すので、大きく色のコントラストも美しい画像に引き込まれてしまいました。

からはこれから流行しそうな品種や市場での松川産農産物の評価など意見を交わし、最後に「松川

### すぽと

#### 松川町若手農業者の会

##### 「若武者」県外視察研修

平澤 智 人

産農産物は評判がよいので自信を持ってほしいが、これからはよい企画を立てて売っていくことも大切」というアドバイスもいた

たのですが、ブランドの壁が予想以上に大きく、外部の人には現場を見せてくれないと言うことで京都錦通りの京野菜専門店を視

会長の片桐一明さんによるとテーマごとの被写体は松川町内に有る物で、技巧を加える事無く自然のまままでというのを基本とされているそうです。花の写真も普段車で駆け抜



会のみなさん

けてしまっている場所が何ヶ所もあつて、ゆとりの無い毎日を反省…。  
当たり前になりがちな町の風景を美しく撮り続けていらつしやる会の皆様の写真、楽しみにしています。

## 俳句

当季雑詠 米山 護

地酒屋にほつたるの水引いてあり

飯田線無人駅にも立葵

万緑の沖縄巨艦のごとくなり

口暗くあけ囷鮎仕掛けをり

月見草焼米いづる古戦城



察してきました。販売されている京野菜は見慣れない形の野菜が多く、ナス一個が1,000円もするものもあり、京野菜のブランド力の強さを実感してきました。今回は11名が研修視察に参加し、それぞれがよい刺激を受けました。若武者で10月に計画している名古屋・中日ビルでの販売体験も成功させ、松川町の農業を盛り上げていきたいと思えます。

# バドミントン初心者教室開催

今年も松川町バドミントン協会では、バドミントン愛好者の拡大を目的として初心者教室を実施しています。

期 日 毎週火曜日(全10回)  
9月…2・9・16・23・30日  
10月…7・14・21・28日  
11月…4日  
場 所 町民体育館  
持 ち 物 運動靴、ラケット

参加資格 松川町在住でバドミントン初心者の方  
参加費 1人1,000円  
主 催 松川町バドミントン協会



おいしそうなジャガイモが  
コロコロ出てきます。  
ジャガイモ掘りつて、こ  
んに楽しいんだね!



「みんなで作った野菜です!!  
良かったら買って行ってくだ  
さい!!」  
お客様に収穫した野菜を売  
りました。

JAあぐりスクール **こども農場**



どんだけ蒔くの?



早く大きくなーれ!

太陽みたいな黄色のヒマワ  
リ。町内の各施設へお届けし  
ました。  
みなさん喜んでくれました。  
嬉しいです。



夏!といえばトウモロコシ。  
焼いても蒸かしてもおいしい  
甘いトウモロコシ。  
早く食べたいなあ。

**声**  
母・ゆかり

子ども達に「食べ物の大切さ」  
と「農業の楽しさ」を知ってもら  
う食育を目的としたJAあぐり  
スクール「こども農場」が4月に  
開校しました。

場所は上片桐選果場近くの広域  
農道沿いの遊休農地とりんご園。  
27名の町内の小学生が若手農業者  
や職員などの指導を受けながら  
月1回のペースで、1年間野菜・花  
りんご作りを行っていきます。

小雨が降り肌寒い日や強い陽  
差して暑い日なども、子ども達は  
もちまへの明るさとパワーで、野  
菜や花の種まきりんごの作業な  
どをこなしてきました。

7月のJA納涼祭では収穫し  
た野菜を店頭で対面販売し消費者  
の生の声をお聞きし、又、ひまわ  
りは町内13の施設を訪問し飾っ  
てもらおうようお届けしました。

今後の予定は「デイキャンプ、か  
べ新聞作り、焼き芋、収穫物のJ  
A祭販売、収穫祭、閉校式と続き修  
学旅行も計画しています。

今の子ども達の日常生活に農  
業というものがどれだけ根付い  
てくれるか楽しみな日々が続  
きます。皆さんも子ども達に熱いエ  
ールを送っていただけたら嬉しく  
思います。

**草**

「わが家に子犬がやってき  
た。」  
種類は「日本スピッツ」です。

スピッツは過去昭和30年代に人  
気があり、日本国内初の約4割  
がそうだったようです。実際  
にわが家にもいました。しかし、  
よく吠えるという事で人気が  
なくなってしまうました。その  
後改良がなされ、また人気で  
てきたそうです。

まっ白い毛に黒い目と鼻、家  
族みんなからかわいがられ、新  
しい家族が増えました。  
末永くよろしく願います。

松下 聡



公民館報  
「まっかわ」  
第 539 号  
平成20年 9月15日

発行所 松川町公民館  
責任者 松村直彦  
編集人 公民館編集部  
Tel 36-2622  
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp

飯田市上郷黒田121  
印刷所 龍共印刷(株)